

菅政権の自壊と混乱は、自民党内の内部抗争の結果よりも  
都議選・横浜市長選に始まる国民世論の勝利の結果だ。

この道のさらなる推進こそ、私たち国民の「現下の合言葉」だ！

マスコミは、菅政権の自壊と自民党内の総裁選挙をめぐる内部抗争を現下の主要な報道題材とし、しかも、その原因を「コロナの跳梁と対策の失敗」によるものと描くことに血道をあげている感がある。いわば政局の表皮における現象に、国民の眼をくぎ付けし、そのため現下の最も重大な課題から関心をそらす役割を演じている。

その現下の重大な課題とは、都議選にはじまり、横浜市長選の勝利に至る国民的世論の勝利と前進を、中断させることなく、全国各地でひきつづき推進し、近づきつつある総選挙の勝利へと連動させることである。いまこそ、このことに国民の関心を大きくひきつけねばならない。

長年にわたる自民党政権の弊害の「闇」を切り開き、横浜市長選挙の勝利によって、前途に一条の光のきらめきを感じ取ったいま、来るべき総選挙において、その光を全国に輝かせる方途を早々に用意することにかからねばならない。自民党内の内紛に目を奪われることなく、われわれの壮志を忘れずに前進することを、ここに訴えるものである。

2021年9月4日

非核の政府を求める京都の会  
常任世話人代表 望田幸男